

# 愛知県美浜町が水管橋修繕工事で『ウルトラパッチ』を採用

ルポ

和歌山市の六十谷水管橋崩落事故（2021年10月）などを踏まえ、昨年3月に改訂された「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」で、予防保全型管理の新技术活用が推奨されている。この内容を受け、水道技術研究センターでは新事業として「水道における新技术事例集（AquaLIST）」の取りまとめを行い、有用性の高い技術を同センターのホームページで公開、周知している。愛知県美浜町は、このAquaLISTに登録されている阿南電機製の「紫外線硬化型FRPシート」（製品名『ウルトラパッチ』）を採用し、このほど水管橋修繕工事を行った。本紙では同町の担当者、新技术採用の効果などを伺った。

（大阪新聞部・石上和弘）

阿南電機製の紫外線硬化型FRPシート

美浜町は愛知県の知多半島南部に位置し、水道事業は1962年2月から

ら給水を開始した。5期の拡張事業を経て、2022年度末現在で、▽給水人口…2万1700人▽1日最大給水量…1万26立方メートル▽普及率…99・8%▽有収率…92・63%…などとなっている。

修繕前の水管橋



また、配水池2カ所やポンプ場4カ所、管路総延長20万3062メートルを有し、水源は愛知県から全量受水している。配水池は2003年度に耐震診断を実施し、いずれも耐震性を確認している。同町は2014年度に「美浜町水道ビジョン」、2018年度に「美

浜町水道事業経営戦略」を策定し、経営基盤の強化や安定給水の確保などを図っている。

この経営

戦略は、計画期間が10

年間（20

19～28年

度）で、こ

の間に布設

の管路延長

は累計約60

キロとなり、

管路総延長

の約30%と

なる見込み

である。2022年度

率は10・7%。ダウンサイジングを考慮した老朽管の更新や管路の耐震化などを進める必要がある。幹線配水管の耐震化率14%以上の達成を目指すとしてい

る。同町では2013年から、災害拠点病院および重要給水施設へ

の配水管を重点的に耐震化する

。美浜町重配水管耐震化計画」に

も取り組んでいる。採用後の評価などにつ

いては「仕上がりが経過ついては2017年度

は高いと思います。今後

に策定した「水管橋更新計画」を

り、道路計画に伴うタイ

踏まえた上で、今回は

ですが、その計画時期が未

定ですので、検討してい

きたいです」と語った。

## 更新困難の予防保全で採用

### 仕上り良く費用対効果など評価

「美浜町重配水管耐震化計画」に

も取り組んでいる。採用後の評価などにつ

いては「仕上がりが経過ついては2017年度

は高いと思います。今後

に策定した「水管橋更新計画」を

り、道路計画に伴うタイ

踏まえた上で、今回は